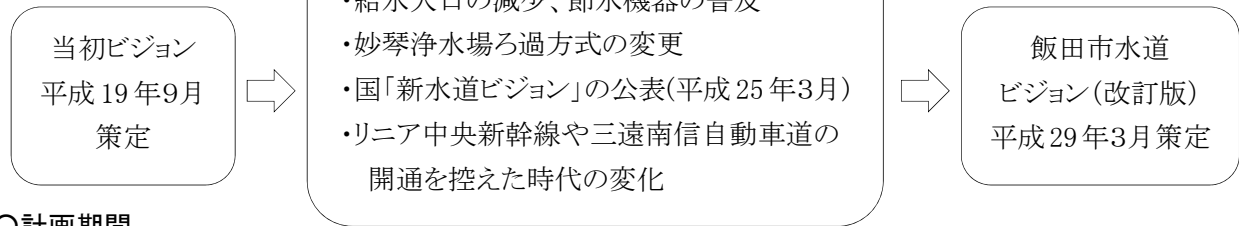


飯田市水道ビジョン(改訂版)の概要

○改定の趣旨



○計画期間

平成 29 年度～平成 38 年度(当初ビジョン計画期間:平成 19 年度～平成 38 年度)

○経営理念・運営方針

経営理念(当初ビジョンから変更なし)

「安全でおいしい水道水を安定して供給する」ことを基本目標とし、運営基盤(組織・施設・財政)を強化し、災害に強く持続可能な水道を目指す。

運営方針(当初ビジョン4つ → 国の「新水道ビジョン」にあわせて3つとする)

水づくり	施設更新	維持・経営	サービス
↓	↓	↓	↓
『安全』	『強靱』	『持続』	
すべてのお客様が安心しておいしく飲める安全な水道水を供給する	いつでもどこでも安定して水道水が確保できる水道施設を整備する	適切なお客様負担のもと、施設の良好な維持管理と事業経営の健全化を図る	
(施策の柱)			
①リニア等の広域交通時代を見据えた水需要への対応			
③最適な浄水システムへの移行 ④適正な水道水質の確保 ⑤災害に対応した適切な管理と仕組み作り	②広域交通拠点周辺の水道施設整備 ⑥主要配水系の強化 ⑦老朽施設の更新・耐震化	⑧料金設定の最適化 ⑨事業経営の効率化・安定化	

○当初ビジョンにおける「運営方針及び施策の検討内容」の実施状況(振り返り)

- ・料金改定 5.77%(H20 年4月)
- ・浄水場の運転及び配水池の日常点検業務の複数年契約による民間委託(H20 年度)
- ・窓口業務、検針業務、料金収納業務等の複数年契約による民間委託(H20 年度)
- ・米川、法山、上久堅簡易水道事業の水道事業への統合(H23 年度)
- ・遠山簡易水道施設への監視システム配備(H24 年度)
- ・上黒田配水池整備(H26 年度)

○遠山簡易水道の方向性

平成 29 年4月から水道事業に会計統合することで法適化する。→各種財務諸表や経営指標等から経営成績や財政状況をよりの確に把握できるようになる。

○各施策の柱の具体的計画

(千円)

施策の柱	主要事業	個別事業名	事業費	事業期間
①リニア等の広域交通時代を見据えた水需要への対応	水需要に対応した計画の見直し	土地利用計画等を踏まえた水需要予測	—	—
②広域交通拠点周辺の水道施設整備	広域交通網整備に伴う水道施設整備事業	国道153号線(上郷)管路等布設事業	400,000	H30～38
		座光寺SIC～リニア飯田駅管路等布設事業	100,000	H30～38
		国道256号(上久堅・下久堅)管路等布設事業	115,000	H28～38
③最適な浄水システムへの移行	浄水場の更新	妙琴浄水場更新整備事業(第1期工事)	2,800,729	H26～32
		妙琴浄水場更新整備事業(第2期工事)	2,083,000	H34～38
		遠山簡易水道浄水施設更新事業	28,000	H29～32
④適正な水道水質の確保	鉛製給水管布設替事業	鉛製給水管布設替事業	2,000,000	H29～38
⑤災害に対応した適切な管理と仕組み作り	災害等対策強化	予備水源の維持管理・検討	—	—
		危機管理対応マニュアルの見直し	—	—
⑥主要配水系の強化	危機管理対応能力強化事業	今宮中継ポンプ場整備事業	678,633	H26～30,H38
⑦老朽施設の更新・耐震化	老朽施設の更新整備	鼎配水池更新整備事業	428,796	H26～29
		上郷第4配水池更新整備事業	299,000	H29～32
		入野・大瀬木配水池更新整備事業	577,000	H33～36
		老朽管更新整備事業	1,662,000	H29～38
⑧料金設定の最適化	水道料金の検証	—	—	3年毎
⑨事業経営の効率化・安定化	遠山簡易水道事業の経営改革	遠山簡易水道事業の法適化	—	H29～
		配水区域・施設等の合理化	—	—

<今後の予定>

- 11月29日(火) 平成28年第4回定例会開会(簡水統合関連条例提出)
- 12月14日(水) 平成28年第4回定例会産業建設委員会協議会説明
- 12月20日(火) 平成28年第4回定例会最終日全協説明
- 3月23日(木) 平成29年第1回定例会、H29当初予算成立予定
- 3月下旬 公表